

Eastspring Asia Now

Vol.41

インド現地最新事情 ～ハイデラバード編～

eastspring
investments

南インドを代表する都市、ハイデラバード - テクノロジー都市として発展

- ▶ 弊社のインド駐在員が、州首相が中心となり世界のIT企業を誘致し、大学などにおけるIT人材の育成により発展を遂げたハイデラバードの都市事情についてご紹介いたします。

全体的に整然とした街並み、観光地も「クリーン」

- ▶ ハイデラバードは、南部テランガナ州（2014年にアンドラ・プラデーシュ州から分離したインドで最も新しい州）の州都で、ムンバイから約735kmの距離にあります。
- ▶ 先日来日したモディ首相と安倍首相の間で取り交わされた日印デジタル協定では、日本の公的研究機関とインド工科大学ハイデラバード校がAI技術の共同研究を行うとしています。



写真：整然としたハイデラバードの街並み。こうした風景が延々と続く

- ▶ マクドナルド、ケンタッキー、ドミノ・ピザなどアメリカ的なファーストフード店も数多くあります。
- ▶ 道路や鉄道など、インドの中では交通インフラが発達。ただし、渋滞は避けられません。



写真左：街中を走る高架の線路（メトロ）。交通渋滞を避けるため、高架の道路も街中を走る



写真右：高級自動車メーカーのショールームも

（写真は全て弊社社員が撮影）



*2018年推計 出所：India Population 2018



写真：観光地として有名な4つの光塔をもつ大建造物であるチャール・ミナール周辺の市場にあるゴミ箱。ゴミを捨てたら罰金との記載。

ハイデラバード名物料理は**ビリヤニ**（米料理）
老舗レストランには著名人来訪時の写真も多数



※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。※また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。※また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。
*2018年、アジア・インベスター・アセット・マネジメント・アワード（アジアインベスター誌選出、2017年度対象）をイーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドが受賞。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



アジア・ファンド・ハウス・オブ・ザ・イヤー受賞*
イーストスプリング、アジアにおける最優秀運用会社に3度目の受賞